

【PR総研セミナーのご案内】

情報接触のパラダイムシフトとコンテンツファーストの時代  
**明日の広報(ソーシャルメディア時代の広報戦略)**  
11月1日(火)13:30~18:00

従来のマスメディアを介しての情報接触の流れは、ネット、とりわけスマホとソーシャルメディアの登場によって劇的なパラダイムシフトが起っています。マスメディアだけが情報を独占した時代はすでに終り、情報の受け手だった生活者が情報(コンテンツ)の作成・流通・拡散の主人公になりました。個人も企業も直接、ネット・ソーシャルメディア経由で情報を発信し、受信し、双方向のコミュニケーションによってエンゲージメントを築く時代に入っています。

まだネット上の一次情報の多くが従来のマスメディア発だとはいっても、主軸メディアは急速にネット検索／ネットニュース／ソーシャルメディアへとシフトしています。

コミュニケーションモデルが明らかに大きく変化する中、企業の広報活動も、ターゲットはマスからパーソナル(同一テーマに関心のあるコミュニティ)へ、手法はパブリシティ中心からコンテンツファーストでダイレクトにつながる方向へ、コミュニケーションモデルは知らせる(伝える)広報から共感・対話の広報へと、発想を大きく転換する「明日の広報」の視点が求められています。

PR総研では、こうしたメディアと情報接触(コミュニケーションモデル)の劇的変化を踏まえた、広報活動の新たなモデルを考えるセミナー「明日の広報」を開催します。

セミナーは三部構成で、第一部ではネットニュースの草創期からTVネットニュースに至るまで、長年の豊富なネットニュース編集者としての経験を持ち、PRプランナーでもある中川淳一郎氏が「ネットニュースの過去、現在、将来」をメインテーマにネットニュース編集の特徴と活用のコツを伝授します。

第二部では、コーポレートブランド、マーケティング、調査の専門家でもあるPR総研客員研究員の呉慶和が、PR総研が実施した「メディア利用・信頼度調査」の分析結果をベースに、コミュニケーションモデルの変化と新しいモデル、広報活動の新たな役割を解説します。

第三部では、PR総研所長の篠崎良一が情報接触のパラダイムシフトとメディアの構造変化を俯瞰した上で、中軸メディアの移行によってもたらされる広報活動の将来像と方向性を解説します。

### **【第1部】 ネットニュースの過去、現在、将来(90分)**

ネットニュースの特徴／トラディショナル(マス)メディアとの違い／ネットニュースの基本ルール／ネットメディアにとってのニュース価値／ネットでは何が受け、何が受けないのか／ネットニュース編集部の体制・組織／取材・編集の仕組みとプロセス／誤報対処／写真・動画の扱い／編集部へのアプローチ／対応のポイント、注意

<講師> 中川淳一郎 [ネットニュース編集者／PRプランナー／ライター]

### **【第2部】 「メディア利用・信頼度調査」から見える情報接触の変化とコミュニケーション新モデル(80分)**

「メディア利用・信頼度調査」から見えるメディアの変化／各メディア期待価値分析／利用度／信頼度／利用ニーズ別分析／コミュニケーションモデルの変化／広報部門に求められる新たな役割／広報活動のKGIの変化／ソーシャルメディア時代のコミュニケーションモデル(共感・対話・参加)

<講師> 呉 慶和 [PR総研客員研究員／工学院大学大学院システムデザイン専攻講師]

### **【第3部】 情報接触(メディア)のパラダイムシフトとコンテンツファースト時代の広報(80分)**

情報接触のパラダイムシフト／情報過剰時代のメディア接触パターン／スマホとソーシャルメディアが変えた情報流通の世界／垂直統合メディアと水平展開メディア／中軸メディアの移行／トリプルメディアからPESOへ／量(マス)から質(対話・共感・つながり)重視へ／オウンドメディアとソーシャルメディア／コンテンツファースト広報の時代

<講師> 篠崎 良一 [PR総研所長／広報の学校学校長]

## ■講師■

### **中川 淳一郎 ネットニュース編集者、PRプランナー、ライター**

1973年生まれ。東京都立川市出身。一橋大学卒業後、博報堂CC局で企業のPR業務を担当。その後『テレビブロス』のフリー編集者、企業のPR活動、ライター、雑誌編集などを経て『NEWSポストセブン』、『Ameba TIMES』など様々なネットニュースサイトの編集者として活動。主な著書に『ウェブはバカと暇人のもの』(光文社新書)、『ネットのバカ』(新潮新書)、『ウェブでメシを食うということ』(毎日新聞出版)、『謝罪大国ニッポン』(星海社)他多数。他に週刊誌の連載も。

### **呉 慶和 PR総研客員研究員／工学院大学大学院システムデザイン専攻講師**

東京理科大学理学部応用化学科卒。理想科学工業、日本カラーデザイン研究所、トータルメディア開発研究所、日本アプライドリサーチ研究所経営・マーケティング開発室取締役主幹研究員を経て現在、株式会社ドリサーチ研究所主幹研究員データストラテジスト、工学院大学大学院システムデザイン専攻講師。専門分野は「調査」「ブランド開発」「ブランドメッセージ開発」「ブランドVI開発」。著書に『再入門利益が上がる「市場調査」のやり方』。マーケティングサイエンス学会、オペレーションリサーチ学会、各会員

### **篠崎 良一 PR総研所長／『広報の学校』学校長 (共同ピーアール㈱)**

早稲田大学第一文学部社会学専攻卒。出版社(日本実業出版社、ローリングストーンジャパン)を経て、共同PR㈱入社、取締役、常務取締役、取締役副社長を経て現職。企業・団体の広報・危機管理コンサルティング、広報・危機管理研修担当。2003年5月『広報の学校』を開校。2013年1月『PR総研』を設立。

企業・団体の総合広報コンサルティング、TOP 広報コンサルティング、広報戦略策定、広報活動調査、広報部創設・育成指導、メディアトレーニング、危機管理実務、クライシスコミュニケーション・コンサルティング、(クライシス)メディアトレーニング、マニュアル制作、危機管理調査を担当。

著書に『入門メディアトレーニング』(アニモ出版)、『実戦企業広報マニュアル』<韓国版が2004年に刊行>、『会社を守る!もしものときのメディア対応策』(共にインデックス・コミュニケーションズ)、『広報・PR概論』(共著、同友館)、『広報・PR実務』(監修、同友館)、『パブリックコミュニケーションの世界』(共著、北樹出版)他がある。日本広報学会、日本PR協会、日本コーポレートガバナンスネットワーク、各会員。(社)日本PR協会認定資格『PRプランナー』試験委員。

**PR総研セミナー『明日の広報』カリキュラム**  
**11月1日(火) 13:30~18:00 / 受付開始13:00~**

	時 間	講 師	テーマ(タイトル)
第1部	13:30~15:00 90分(Q&A含む)	中川 淳一郎 (ネットニュース編集者/PR プランナー/ライター)	ネットニュースの過去、現在、将来
休憩	15:00~15:10		
第2部	15:10~16:30 80分(Q&A含む)	呉 慶和 (PR総研客員研究員/工学 院大学大学院システムデザ イン専攻講師)	「メディア利用・信頼度調査」から見える情 報接触の変化とコミュニケーション新モデ ル
休憩	16:30~16:40		
第3部	16:40~18:00 80分(Q&A含む)	篠崎 良一 (PR総研所長/広報の学校 学校長)	情報接触(メディア)のパラダイムシフトとコ ンテンツファースト時代の広報

**[ 実 施 概 要 ]**

- 日 時 **2016年11月1日(火) 13:30~18:00 / 受付開始 13:00~**
- 対象者 広報・マーケティング部門の担当者・責任者・管理職
- 会 場 『広報の学校』銀座教室(共同PR株式会社 研修室)  
中央区銀座7-2-22 同和ビル ☎03-3571-5179
- 定 員 30名
- 受講料 3万円(消費税、レジュメ、資料代含む)
- 申込み 受講申込書にご記入の上、FAX(03-3574-1005)にてお申し込み下さい。  
※ 請求書が必要な方は受講申込書にご記入ください。  
※ 参加者には受講証(地図)をご送付いたします。
- 締切り **10月31日(月)まで** ※申し込み順、定員になり次第締切りとさせていただきます。
- 受講料支払方法: 下記の口座にお振込みください。  
三菱東京UFJ銀行 銀座通支店 共同ピーアール株式会社  
普通口座 0656224  
※参加者が少数の場合、実施しないこともございます。(受講料は返金いたします)  
※お申込みされましたご本人が参加できない際の代理参加は可能です。  
※受講料の払い戻しは応じかねますのでご了承ください。

---

◆◆◆ お問合せ先 ◆◆◆ PR 総研(共同ピーアール株式会社内) 篠崎、大八木  
 TEL: 03-3571-5179 FAX: 03-3574-1005  
<http://www.kyodo-pr.co.jp/>  
 e-mail: prsouken@kyodo-pr.co.jp

# 【FAX:03-3574-1005】

## PR総研セミナー 参加申込書

### 『明日の広報(ソーシャルメディア時代の広報戦略)』

日 時 = 2016年11月1日(火) 13:30~18:00

会 場 = 『広報の学校』教室 (共同PR株式会社 研修室)

中央区銀座7-2-22 同和ビル3F ☎03-3571-5179

申込日: 2016年 月 日

御社名		部署・ 役職名	
御名前		☎	
御住所	〒	FAX	
		e-mail	
請求書	要 ( ) 不要 ( )		
※請求書 送付先	※ご送付先が上記と異なる場合のみ、ご記入ください。		
≪備考欄≫			

●参加お申込みはFAXでお願いいたします。

FAX送付先: 03-3574-1005 (PR総研)

●参加申込書を受付け次第、受講証をご送付いたします。

●お申込みされましたご本人が参加できない際の代理参加は可能です。

●受講料の払い戻しは応じかねますのでご了承ください。